

「12・2」——小説『人間革命』の執筆開始

導入部

12月2日は、池田先生が小説『人間革命』の執筆を開始した日です。創価学会の真実と、信仰に目覚めた人々の蘇生のドラマ、そして師弟不二の精神を描いた、『人間革命』『新・人間革命』。この執筆に込められた師の思いを学んでいきましょう。

1枚目／小説『人間革命』のテーマ（7枚目の絵の裏に貼る）

1964年（昭和39年）12月2日、池田先生は小説『人間革命』の執筆を開始しました。

この小説のテーマについて、池田先生は第1巻の「はじめに」で次のように述べています。

「一人の人間における偉大な人間革命は、やがて一国の宿命の転換をも成し遂げ、さらに全人類の宿命の転換をも可能にする。——これが、この物語りの主題である」

2枚目／平和原点の地・沖縄で執筆開始（1枚目の絵の裏に貼る）

「戦争ほど、残酷なものはない。

戦争ほど、悲惨なものはない」

との言葉で始まる小説『人間革命』「黎明」の章の執筆は、太平洋戦争で凄惨な地上戦が繰り広げられ、多くの一般市民が犠牲となった沖縄で開始されました。

そこには、戦争の惨禍を刻んだ沖縄の地から、戦争の悲惨さ、愚かさを世界に向けて明確に伝え、人類の平和と幸福の夜明け（黎明）を開きゆこうとの、『人間革命』の執筆にかける、池田先生の強い決意が込められていたのです。

3 枚目／^{みょうごくう}妙 悟空と^{ほうごくう}法悟空

(2 枚目の絵の裏に貼る)

第二代会長・戸田先生は、亡^なくなられる 8 か月前^{げつまえ}の昭和^{しやうわ}32 年 (1957 年) 8 月、池田先生とともに軽井沢の地^ちを訪^{おとず}れます。その頃^{ころ}、戸田先生が執筆^{しつぴつ}した小説^{しょうせつ}『人間革命^{にんげんかくめい}』が発刊^{はつかん}されたばかりでした。軽井沢での師弟^{してい}の語^{かた}らいのなかで池田先生は、この『人間革命^{ぞくへん}』の続編^{ぞくへん}とも言うべき戸田先生の伝記^{でんき}を書き残^かし、その生涯^{しょうがい}と精神^{せいしん}を顕彰^{けんしょう}しゆくことを決意^{けつい}したのです。

戸田先生が「妙悟空」というペンネームで『人間革命』を執筆^{たい}されたのに対し、池田先生は『法悟空』のペンネームを使^{つか}われています。池田先生は「(仏法^{ぶつぽう}の原理^{げんり}からいえば) 妙^{みょう}は師^し、法^{ほう}は弟子^{でし}となる。私^{わたし}の師は戸田先生である」とつづっています。まさに師弟不二^{していふに}の精神^{せいしん}に貫^{つらぬ}かれたペンネームなのです。

4 枚目／^{していふに}師弟不二の^{とうそう}闘争を描いた^{えが}真実^{しんじつ}の書^{しょ}

(3 枚目の絵の裏に貼る)

『人間革命』は、戦後^{せんご}、戸田先生が創価学会^{そうかがっかい}の再建^{さいけん}に一人立ち、75万世帯^{まんせたい}の弘教^{ぐきやう}という誓願^{せいがん}を達成^{たっせい}し、後継^{こうけい}の弟子^{でし}・山本伸一^{やまもとしんいち} (池田先生^{いけだせんせい}) が第三代会長^{だいさんだいかいちょう}に就任^{しゅうにん}するまでの創価学会^{そうかがっかい}の歴史^{れきし}を描^{えが}いています。その執筆^{しつぴつ}は、広布^{こうふ}の指揮^{しき}をとる激務^{げきむ}の合間^{あいま}をぬって行^{おこな}われました。時には、執筆^{しつ}を続けるため、高熱^{こうねつ}をおして口述^{こうじゅつ}することもありました。

このようにして執筆された『人間革命』は全12巻^{ぜんかん}で完結^{かんけつ}しています。

5 枚目／^{しょうせつ}小説『^{しん}新・人間革命^{にんげんかくめい}』の執筆^{しつぴつかいし}開始

(4 枚目の絵の裏に貼る)

1993 年 (平成^{へいせい}5 年) 8 月 6 日、原爆投下^{げんばくとうか}から 48 年が過ぎたこの日、池田先生は『人間革命』の続編^{ぞくへん}である小説『新・人間革命』の執筆^{しつ}を軽井沢^{かるいざわ}の地^ちで開始^{かいし}しました。この小説は、次^{つぎ}のような書き出し^かで始^{はじ}まります。

「平和^{へいわ}ほど、尊^{とうと}きものはない。

平和^{へいわ}ほど、幸福^{こうふく}なものはない。

平和こそ、人類^{じんるい}の進^{すす}むべき、根本^{こんぽん}の第一^{だいいっ}歩^ぽであらねばならない」

6 枚目／^{かぎ}限りある^{いのち}命の^{じ・かん}時間との^{そうぜつ}壮絶な^{とうそう}闘争

（5 枚目の絵の裏に貼る）

小説『^{しょうせつ}新・^{しん}人間革命』は^{かんけつ}完結までに^{ぜん}全30巻を^{よてい}予定し、^{いけだせんせい}池田先生は^{にほんじゅう}日本中、^{せかいじゅう}世界中を^{とうほんせいそう}東奔西走しながら“^{かぎ}限りある命の時間との^{そうぜつ}壮絶な^{とうそう}闘争”との^{かくご}覚悟で^{しつぷつ}執筆を^{つづ}続けられました。

^{しつぷつかいし}執筆開始から^{まん}満25 年となる 2018 年（^{へいせい}平成30 年）8 月 6 日、^{ながのけんしゅうどうじょう}長野研修道場で、第 30 巻の^{さいしゅうしょう}最終章「^{せいがん}誓願」の^{しょう}章を書き^{どうねん}終えられました。同年 9 月 8 日、^{とだせんせい}戸田先生が 1957 年（^{しょうわ}昭和32 年）に^{げんすいばくきんしせんげん}原水爆禁止宣言を^{はつびょう}発表された日、^ひ連載を^{れんさい}終了^{しゅうりょう}しました。

7 枚目／^{せかい}世界で^{あいどく}愛読される^{しょうせつ}小説『^{にんげんかくめい}人間革命』『^{しん}新・人間革命』

（6 枚目の絵の裏に貼る）

小説『^{にほん}人間革命』『^{しん}新・人間革命』は、日本の^{しんぶんしょうせつ}新聞小説で^{れんさいかいすう}連載回数が^{さいた}最多となりました。また、^{かずおお}数多くの^{げんご}言語に^{ほんやく}翻訳され、^{せかいじゅう}世界中の^{とも}友に^{ゆうき}勇気と^{きぼう}希望の^{ひかり}光を^{おく}送り^{つづ}続けています。

わたしたちも^{そうかがつかい}創価学会の^{せいぎ}正義の^{れきし}歴史と^{さんだいかいちょう}三代会長の^{していふ}師弟不二の^{せいしん}精神を^{まな}学んでいきましょう。

決意など